

1月

富士通フロンティアーズがライスボウル2連覇

富士通フロンティアーズが、アメリカンフットボール日本選手権「第76回ライスボウル」で、パナソニックインパルスと2年連続で対戦し、逆転勝ちで2連覇を果たした。

「川崎とどろきパーク株式会社」が設立

東急株式会社、株式会社川崎フロンターレ、富士通株式会社など計9企業が、球技専用スタジアムを含む等々力緑地の再編整備や今後30年間の運営、維持管理を担う「川崎とどろきパーク株式会社」を設立した。

2月

労働会館のクロージングイベント開催

3月末に休館する川崎市立労働会館（サンピアンかわさき）のクロージングイベント「ありがとうサンピアン感謝まつり」を開催した。今後は教育文化会館の市民館機能を移転し「(仮称)川崎市民館・労働会館」として再編整備する予定で、2026年2月の供用開始を目指している。

3月

本市初の「BRT」運行開始

臨海部の交通網整備の一環として、ハイブリット連節バスを使用した本市初の「BRT」(バス高速輸送システム)の運行を開始した。川崎駅東口と臨海部の水江町を直結し、今後は東扇島まで延伸される予定である。

「フロントタウン生田」など全面オープン

生田浄水場の一部の有効活用地として、市民の憩いの場やスポーツ広場として利用できる「生田ふれあい広場」、「生田多目的広場」、川崎フロンターレが運営する「Ankerフロントタウン生田」が全面オープンした。

かわさき電子図書館サービスを開始

パソコンやスマートフォンから24時間365日、貸出・返却・予約できる電子図書館サービスを開始した。電子書籍など約6,000点が貸出対象である。

京急川崎駅隣接地に新アリーナ建設へ

株式会社DeNAと京急電鉄株式会社は、京急川崎駅隣接エリアに、新アリーナや宿泊施設、飲食施設など複合エンターテインメント施設を開業する計画を発表した。1万人を超える観客の収容が可能になる新アリーナは、川崎ブレイブサンダースのホームアリーナになる。

武蔵小杉に「KOSUGI iHUG」オープン

「農・食・健康」をテーマにしたコミュニティ施設「KOSUGI iHUG (コスギ アイハグ)」がオープンした。農業体験ができるシェアリングファームが整備され、地元産の野菜や全国各地の食材が食べられるレストラン、育児をサポートする産前産後ケア施設も入っている。

4月

初のD.LEAGUEでKADOKAWA DREAMS優勝

2021年に開幕した世界初のプロダンスリーグ「D.LEAGUE」チャンピオンシップで、中原区を拠点に活動するダンスチーム「KADOKAWA DREAMS」が初の王者に輝いた。

NECレッドロケッツ、V.LEAGUEで優勝

NECレッドロケッツは、東レアローズを逆転で下し、2022-2023シーズンのV.LEAGUE DIVISION1 WOMENで6年ぶり7度目の優勝を飾った。

市制100周年デザイン「ニュータンタンメン」発売

市制100周年記念特別デザイン版の「元祖ニュータンタンメン本舗監修タンタンメン」の発売が決定した。市ブランドメッセージロゴマークや市制100周年に向けたメッセージをパッケージに掲載。全国のコンビニエンスストアなどで、期間限定で販売された。

5月

麻生区、男女ともに長寿日本一になる

厚生労働省が発表した令和2年の平均寿命で、麻生区が全国の市区町村で男性、女性ともに最も長寿だった。男性84.0歳、女性89.2歳で、男女ともに1位になるのは全国初である。

6月

大田区、東京都と水素エネ利活用の連携協定締結

川崎市、大田区、東京都の3自治体で、産業競争力の維持・強化、エネルギーの安定供給、カーボンニュートラルの実現に有効な手段となる水素の利活用拡大の推進に向けて連携協定を締結した。

新しい市役所本庁舎が完成

2020（令和2）年から新築工事を進めていた新本庁舎が完成した。地震や浸水被害に対応できる高度な業務継続性を備え、旧本庁舎の一部を再現した復元棟や25階の展望ロビー・スカイデッキは一般公開されている。

7月

SHISHAMO、特別版のバンドスコアを無償配布

川崎市出身のロックバンドSHISHAMOは、音楽を頑張る若者たちを応援したいとして、市と協働で特別版のバンドスコアを制作した。中学校や高等学校、こども文化センターなど市内約140か所に無料配布した。

8月

市職員向け「Kawasaki City SDGs Guidance」作成

国内自治体初の取組として、SDGsを庁内マネジメントに活用する「Kawasaki City SDGs Guidance～川崎市庁内SDGs取組の進め方～」を作成し、国内最大級の政策コンテスト「第18回マニフェスト大賞」で優秀賞及びプレゼンテーション特別賞を受賞した。

9月

JFEスチール京浜地区高炉が休止

日本の高度経済成長を支え、京浜工業地帯のシンボルだったJFEスチール株式会社の高炉が、国内市場の縮小に伴い操業を休止した。広大な跡地は、川崎市とJFEが協力して2050年までに水素供給や港湾物流の拠点を中心に整備していく方針である。

「子ども・若者の“声”募集箱」の本格実施開始

市内に在住または在学、在勤する小学校4年生から18歳までの若者を対象に、川崎のまちや学校に対して感じることや思うこと、市長に提案したいことを市サイ

ト上に投稿できる「募集箱」の本格実施を開始した。

10月

脱炭素社会に向けて地域エネルギー会社設立

NTTアノードエナジー株式会社、東急株式会社などと共同出資して、地域エネルギー会社「川崎未来エナジー株式会社」を設立した。官民連携によるソーシャルビジネスの創出や市域のエネルギー利用最適化など、電力・エネルギーの観点から地域課題の解決を目指す。

ライブハウス「スペルノヴァカワサキ」誕生

川崎駅西口に音楽ライブハウス「SUPERNOVA（スペルノヴァ）KAWASAKI」がオープンした。芸能事務所ホリプロ初のエンターテイメント施設で、500人収容可能な新しいライブホールが誕生した。

多摩川花火大会が4年ぶりに開催

川崎市制記念多摩川花火大会が、コロナ禍を経て4年ぶりに開催され、約6,000発の花火が夜空を彩った。約23万人が来場した。YouTubeでも同時生中継された。

ウォーキングアプリ「かわさきTEKTEK」スタート

ウォーキングアプリ「かわさきTEKTEK」を活用した新たな健康事業を開始した。参加者は、歩いて貯まったポイントを市内小学校へ寄付し、学校側はポイント数に応じた応援金を受け取り、子供たちの学校生活に活用する。

11月

市制100周年に向けたイベントを開催

市制100周年記念事業の一環として、市役所通りを歩行者天国にしてウォーカブルな空間にした「みんなの川崎祭」、川崎の未来づくりを考える都市型サミット「Colors, Future! Summit 2023」を開催した。

12月

川崎フロンターレ、天皇杯優勝

川崎フロンターレが天皇杯JFA第103回全日本サッカー選手権で柏レイソルを破り、3大会ぶり2回目の優勝を果たした。